

令和2年度高松市外部評価 結果一覧

※評価結果は、本市の最終判断ではありませんので御留意ください。
 ※フラワーフェスティバルと交通安全フェアは共同開催のため、一括して評価を実施したものです。

開催日	事業番号	事業名等	令和元年度（決算）事業費	判定結果	評価の趣旨	主な意見
8月 25日	1	花いっぱい推進事業 (フラワーフェスティバル)	13,340千円	縮小	フラワーフェスティバルについては、「新しい生活様式」に対する新たなイベント実施方法を検討すべきではないか。また、交通安全フェアについては、交通事故の多い高齢者層を集客できるような内容に工夫をしてはどうか。「新しい生活様式」に対応しながら、予算規模を縮小して事業を実施できるよう両課で検討してほしい。	- 交通安全フェアは、特に交通事故が多い高齢者向けの内容を充実させてはどうか。 - コロナ禍においては、集客するのではなく、違った方法で事業を実施することも検討する必要があるのではないかな。
	2	高齢者等交通安全啓発推進事業 (交通安全フェア)	1,234千円			
	3	非行防止活動事業	23,285千円	改善	いじめ等の相談活動の対応方法については、SNSの活用により相談しやすい窓口をつくるなど、当事者の視点に立った方法を検討する必要がある。また、補導活動は、地域の実情や非行の現状に合わせた対応方法を検討するとともに、学校と連携して、その在り方を考えることも必要である。	- SNSを活用した相談しやすい窓口を検討してはどうか。 - 子どもたちが外出している機会が減っている中で、非行の現状に対応した補導の在り方を考える必要があるのではないかな。 - 外部委託や学校との連携など、予算をかけずにうまく周知する方法を検討してほしい。 - 各事業を実施している団体との関係や構造的な問題を見直すことも必要である。
	4	少年教育推進事業	2,964千円	改善	子ども会・育成会の担い手の育成方法を検討してほしい。また、子ども会を活性化させるために、学校や自治会を始め、コミュニティ協議会などの他団体と協力し、より効率的で効果的な運営・実施ができるよう検討が必要である。	- 子ども会運営が保護者にとって負担となっている中、子ども会を今後活性化させるために、コミュニティ協議会と連携するなど、地域ごとで考えてもらう必要がある。 - 働く女性が増えてきていることもあり、子ども会の担い手が不足している現状を踏まえた課題解決に取り組んでもらいたい。
8月 26日	5	観光イベント振興事業	30,445千円	改善	各まつりの実施団体と補助金の在り方を協議して、補助金支給や成果などの基準を作成するなど補助金交付要綱の見直しを行う必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中でのイベント実施について、新たな実施方法も視野に入れ検討してほしい。	- 補助金交付要綱が平成31年に施行されているものの、補助金支給割合の基準がないことから、要綱の見直しを検討する必要がある。 - 民間企業が関わるイベントには、財政面で自助努力を求めているどうか。 - コロナ禍において、入込客数だけでなく、費用対効果をどのような形で測るのが今後の課題となる。 - 全てのまつりへの補助総額を縮小する方向で、それぞれのまつりへの補助金や今後のまつりの在り方を各実施団体と協議してもらいたい。
	6	再生可能エネルギー普及促進事業	26,484千円	改善	太陽エネルギーの利用促進につながるよう、地球温暖化対策の重要性や太陽光発電システム設置等の補助事業について広く周知を行う必要がある。また、再生可能エネルギーを拡充していく上で、今後見直しすべき箇所を明確にして、本市の特性を生かした取組を検討してみてもどうか。	- 蓄電池システムの普及を進めていったらよいのではないかな。 - 日照時間が長いという本市の特性を知っている人がどのくらいいるのかと思う。この制度をどのように周知していけるか、今後さらに周知に努めてほしい。 - 一般の人たちには石油がメインで再エネはサブ的なものという認識だと思う。地域ぐるみで価値観を転換し、再エネを推進している自治体もある。 - 何年かすると、太陽光発電システムが落下する事故が見受けられるので、安全面での指導を行政が行ってほしい。 - 普及させるために、市の建築確認申請時にチェックさせるなどの工夫をしてはどうか。 - 今後見直しすべき箇所はどこなのかを明確にして検討する必要がある。